

令和5年度公営企業会計決算の概要

- 電気事業は発電量増加・売電単価上昇による料金収入増により2年ぶりの黒字
- 水道事業は3年連続の黒字
- 工業用水道事業は諸物価高騰により2年連続の赤字
- 流域下水道事業は諸物価高騰により2年ぶりの赤字

1 電気事業

(1) 収益的収支

- 供給電力量は、令和4年度実施の水力発電発電機のオーバーホールに伴う、発電停止の影響がなくなり、対前年度比79.7%増の3,329万1千kWhとなりました。
- 収入は、発電量増加・売電単価上昇により対前年度比202.7%増の6億34百万円、うち料金収入は対前年度比207.7%増の6億27百万円となりました。
- 支出は、修繕費の減等により、対前年度比29.4%減の3億55百万円となりました。
- この結果、収支差引は、2億79百万円の純利益となりました。

(単位：千kWh、百万円)

区 分	令和5年度 (決算)	令和4年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
供給電力量	33,291	18,531	14,760	79.7%
収入 A	634	209	425	202.7%
うち料金収入	627	204	423	207.7%
支出 B	355	502	△ 147	△ 29.4%
差引 A-B	279	△ 293	572	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は0円、支出は27百万円となり、収支差引不足額は27百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和5年度 (決算)	令和4年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
収入 C	0	154	△ 154	皆減
支出 D	27	197	△ 170	△ 86.1%
うち建設改良費	0	181	△ 181	皆減
差引 C-D	△ 27	△ 43	16	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

2 水道事業

(1) 収益的収支

- 給水量は、対前年度比 1.1%減の 4,084 万 1 千立方メートルとなりました。
- 収入は、長期前受金戻入の減等により、対前年度比 0.4%減の 53 億 9 百万円、うち、料金収入は、対前年度比 0.1%減の 49 億 69 百万円となりました。
- 支出は、修繕費や資産減耗費の減等により対前年度比 2.3%減の 43 億 44 百万円となりました。
- この結果、収支差引は、9 億 65 百万円の純利益となりました。

(単位：千³m、百万円)

区 分	令和 5 年度 (決算)	令和 4 年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
給水量	40,841	41,296	△ 455	△ 1.1%
収入 A	5,309	5,329	△ 20	△ 0.4%
うち料金収入	4,969	4,975	△ 6	△ 0.1%
支出 B	4,344	4,446	△ 102	△ 2.3%
差引 A-B	965	883	82	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 7 億 75 百万円、支出は 29 億 14 百万円となり、収支差引不足額は 21 億 39 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 5 年度 (決算)	令和 4 年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
収入 C	775	995	△ 220	△ 22.1%
支出 D	2,914	3,227	△ 313	△ 9.7%
うち建設改良費	1,089	1,504	△ 415	△ 27.6%
差引 C-D	△ 2,139	△ 2,232	93	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

3 工業用水道事業

(1) 収益的収支

- 有収水量は、対前年度比 0.2%増の 1,081 万立方メートルとなりました。
- 収入は、長期前受金戻入の減等により、対前年度比 0.5%減の 3 億 9 百万円、うち料金収入は、対前年度比 0.3%増の 2 億 61 百万円となりました。
- 支出は、修繕費や動力費の減等により、対前年度比 14.6%減の 3 億 10 百万円となりました。
- この結果、収支差引は、1 百万円の純損失となりました。

(単位：千m³、百万円)

区 分	令和 5 年度 (決算)	令和 4 年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
有収水量	10,810	10,790	20	0.2%
収入 A	309	311	△ 2	△ 0.5%
うち料金収入	261	260	1	0.3%
支出 B	310	363	△ 53	△ 14.6%
差引 A-B	△ 1	△ 52	51	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 78 百万円、支出は 1 億 69 百万円となり、収支差引不足額は 91 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 5 年度 (決算)	令和 4 年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
収入 C	78	81	△ 3	△ 3.6%
支出 D	169	239	△ 70	△ 29.3%
うち建設改良費	132	207	△ 75	△ 36.3%
差引 C-D	△ 91	△ 158	67	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

(次頁あり)

4 流域下水道事業

(1) 収益的収支

- 処理水量は、対前年度比 2.2%増の 1 億 1,160 万 5 千立方メートルとなりました。
- 収入は、令和 4 年度に過年度損益修正による特別利益を計上したため、対前年度比 9.3%減の 130 億 28 百万円となりました。
- 支出は、令和 4 年度に過年度損益修正による特別損失を計上したため、対前年度比 7.4%減の 131 億 22 百万円となりました。
- この結果、収支差引は 94 百万円の純損失となりました。

(単位：千³、百万円)

区 分	令和 5 年度 (決算)	令和 4 年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
処理水量	111,605	109,227	2,378	2.2%
収入 A	13,028	14,359	△ 1,331	△ 9.3%
支出 B	13,122	14,165	△ 1,043	△ 7.4%
差引 A-B	△ 94	194	△ 288	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 93 億 90 百万円、支出は 118 億 92 百万円となり、収支差引不足額は 25 億 2 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 5 年度 (決算)	令和 4 年度 (決算)	前年度比較	
			(R5-R4)	増減率
収入 C	9,390	9,811	△ 421	△ 4.3%
支出 D	11,892	10,620	1,272	12.0%
うち建設改良費	8,798	6,454	2,344	36.3%
差引 C-D	△ 2,502	△ 809	△ 1,693	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

【本報道発表に関するお問合せ】

建設交通部公営企業経営課 課長 西崎 吏 TEL 075-414-5465
参事 荒木 直哉 TEL 075-414-5476

まゆろ

